

平成17年度 事務事業評価表																																																											
〔様式1〕																																																											
記入年月日	平成17年4月25日		記入者	内線	2604																																																						
部 名	保健福祉部	課 名	保育課	課長名	長沢 博文																																																						
事務事業名	保育課職場研修																																																										
予算上の事務事業名	保育課職場研修費																																																										
1 総合計画における位置づけ	施策コード		13110																																																								
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして																																																										
政 策 名	第3章 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます																																																										
基本施策名	第1節 子育て環境づくりの推進				事業開始年度																																																						
施 策 名	第1施策 保育環境の整備・充実				昭和63年以前 ▼																																																						
2 実施根拠及び関連法令・条例等																																																											
地方公務員法39条 相模原市職員研修規定																																																											
3 個別計画の概要			概要																																																								
計画名	保育所職員研修基本計画		公務員としての自覚をもち、保育士としての専門性を高めるために調理作業員も含め、職務経験や職制に応じた研修の実施を計画するもの。																																																								
計画年次	16	年度～	18	年度																																																							
4 事業形態の区分 研修・講座 ▼																																																											
5 事業概要																																																											
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)																																																								
近年、家庭や地域における子育て力の低下が著しく、保育園は子育てについて専門的ノウハウを提供し、地域における子育ての拠点として重要な役割を果たすことが期待されている。求められているニーズに答えるために専門性を高め、資質の向上および、効率的な行政運営に寄与する職員の人材育成を目的とし、必要とされる能力や知識の習得と自己啓発の促進を図る。			公立保育士 (臨時職員、民間保育士も含むこともある) 調理作業員																																																								
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。																																																											
<table border="0"> <tr> <td>1 集合研修</td> <td>23件</td> <td>1154人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>園長</td> <td></td> <td></td> <td>市行政の現状と課題・心の健康</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>副園長</td> <td></td> <td></td> <td>経営の視点・食料生産と食生活</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主査</td> <td></td> <td></td> <td>保護者対応・コミュニケーションの取り方・育児相談の心得</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主任保育士</td> <td></td> <td></td> <td>感染予防・メンタルヘルスセミナー・情報公開制度と個人情報保護制度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育士</td> <td></td> <td></td> <td>産休明け保育・歯の外傷・乳幼児の心肺蘇生法・事故予防対策</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>調理作業員</td> <td></td> <td></td> <td>メンタルヘルスセミナー・情報公開制度と個人情報保護制度</td> <td></td> <td>他8件</td> </tr> <tr> <td>2 派遣研修</td> <td>18件</td> <td>91人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>統合保育における保育士の課題・第三者評価・児童虐待防止・母子保健</td> <td></td> <td>他14件</td> </tr> </table>						1 集合研修	23件	1154人				園長			市行政の現状と課題・心の健康			副園長			経営の視点・食料生産と食生活			主査			保護者対応・コミュニケーションの取り方・育児相談の心得			主任保育士			感染予防・メンタルヘルスセミナー・情報公開制度と個人情報保護制度			保育士			産休明け保育・歯の外傷・乳幼児の心肺蘇生法・事故予防対策			調理作業員			メンタルヘルスセミナー・情報公開制度と個人情報保護制度		他8件	2 派遣研修	18件	91人							統合保育における保育士の課題・第三者評価・児童虐待防止・母子保健		他14件
1 集合研修	23件	1154人																																																									
園長			市行政の現状と課題・心の健康																																																								
副園長			経営の視点・食料生産と食生活																																																								
主査			保護者対応・コミュニケーションの取り方・育児相談の心得																																																								
主任保育士			感染予防・メンタルヘルスセミナー・情報公開制度と個人情報保護制度																																																								
保育士			産休明け保育・歯の外傷・乳幼児の心肺蘇生法・事故予防対策																																																								
調理作業員			メンタルヘルスセミナー・情報公開制度と個人情報保護制度		他8件																																																						
2 派遣研修	18件	91人																																																									
			統合保育における保育士の課題・第三者評価・児童虐待防止・母子保健		他14件																																																						
6 関連・類似事業や他市の状況																																																											
関連事業として、職員研修室の全庁職員を対象とした階層別等の研修がある。「相模原市職員チャレンジ&アクションプラン」の基本的考え方に添って、保育所職員研修基本計画を策定し、16年から18年までの3年間で集合研修、派遣研修を組み実施している。																																																											
7 事業費の推移 [単位：千円]																																																											
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)																																																						
事業費	1,422	1,216	1,098	1,138	1,138																																																						
一般財源	1,422	1,216	1,098	1,138	1,138																																																						
受益者負担金	0	0	0	0	0																																																						
その他の特定財源	0	0	0	0	0																																																						
人件費の合計	420	401	404	404	404																																																						
事業コスト合計(a)	1,842	1,617	1,502	1,542	1,542																																																						
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)																																																											
主たる事業名	保育課職場研修			対象名称(単位)	受講者数(人)																																																						
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)																																																						
事業コスト(主たる事業)	1,842	1,617	1,502	1,542	1,542																																																						
対象数	997	1,087	1,245	740	740																																																						
単位あたり経費(円)	1,848	1,488	1,206	2,084	2,084																																																						
前年度比		0.81	0.81	1.73	1.00																																																						

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	受講人数(人)		指標式と指標の説明	受講者数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	997.0	1,087.0	1,245.0		
目標	770.0	822.0	815.0	736.0	736.0
目標達成度	1.29	1.32	1.53		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	受講者の満足度(%)		指標式と指標の説明	受講に満足している人/受講者*100 受講に満足している人の割合	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	90.3	92.0	92.4		
目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
目標達成度	112.9	115.0	115.5		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		市職員全体の研修体系の一貫として独自の仕組みで実施するとともに、変化の激しい保育の動向や技術を習得するために白峰学園保育センターとも連携し、派遣研修の充実も図っていることから職員の資質向上に役立っており、今後も引き続き実施する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 会場設定や日程の考慮による、民間保育士の参加促進			14 課題として認識されたこと 派遣研修に参加した職員の、職場への効果的なフィードバック方策の具体化		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			